

【第6回東海・北陸支部学術大会】一般演題 採択演題一覧

セッション	会場	時間	発表番号	演題登録番号	演題名
口演1	201	9:00-10:00	1-1	40	オキシコドン徐放カプセルの経管投与における有用性についての検討
			1-2	07	ナロキソン塩酸塩投与が必要となったオピオイド過量反応の2例
			1-3	01	症状改善に伴ってメサドンを他のオピオイドにステップダウンできた症例の検討
			1-4	04	肝細胞癌腹腔内破裂に対しジクロフェナクナトリウム経皮吸収製剤にて鎮痛を図った1例
			1-5	20	当院の基本的緩和ケアによるがん疼痛緩和の現状と緩和ケアチーム介入の意義
			1-6	12	在宅がん末期患者におけるフェンタニル貼付薬使用例とPCAポンプによる強オピオイド使用例を比較した疫学的検討
口演2	201	10:10-11:40	2-1	19	薬物誘発性悪心・嘔吐、せん妄との判別が困難であり、異常行動を契機にトルソー症候群の診断に至った膵臓がんの1例
			2-2	10	デキサメタゾン注使用中の低Na血症に対しプレドニゾロン注への変更にて血清Na値の改善が得られた1症例
			2-3	26	胸腹水濾過濃縮再静注前後の生体電気インピーダンス分析法による治療効果の検討・特に胸水と腹水の違いについて
			2-4	31	致死性不整脈を繰り返し対応に苦慮した終末期心不全の一例
			2-5	27	子宮頸がん術後に癒着性イレウスを繰り返し、スピリチュアルペインを認めたが、薬物療法、非薬物療法等集学的治療で経口摂取可能となり生きる意欲を取り戻した一事例
			2-6	21	予後予測からみた管理栄養士のニーズと介入効果の検討
			2-7	30	当院における終末期がん患者に対する人工的水分補給の実態調査と予後予測スコアとの関係性
			2-8	32	緩和ケアチームが治療方針決定時から関わった左上顎歯肉原発小細胞癌の1例
			2-9	41	直腸癌穿孔による直腸テネスムスに対し多職種で対応した1例
口演3	301	10:10-11:40	3-1	23	過活動型せん妄による安静保持困難で放射線治療実施に難渋したが、放射線治療前の抗精神病薬とベンゾジアゼピン系薬使用により放射線治療完遂ができた2症例
			3-2	16	緩和ケアチームにおける心理士の視点 - 「観察すること」を通して-
			3-3	06	消化器癌患者の精神的・社会的苦痛に対する看護介入の実態 - Integrated Palliative care Outcome Scaleを活用して-
			3-4	14	緩和ケアチームによる、未成年の子どもをもつがん患者への支援
			3-5	34	トータルペイン管理におけるスピリチュアルペインの影響をSpipasを使用して考える：事例報告
			3-6	35	コロナ禍の看護ケアにおける看護師の不全感～ 聞き取り調査からみえた本来したい看護～
			3-7	28	時短勤務希望の中で緩和ケアチーム専従看護師を担うには、限られた時間の中での活動を模索して
			3-8	37	外来での院内治療医から緩和ケア科への主治医変更
			3-9	13	多職種で記載する緩和ケア情報提供書作成の試み
口演4	201	14:15-15:45	4-1	25	外来看護師の緩和ケアと意思決定支援の実践を行うことで、患者の望む医療と看護の提供ができ、最期を自宅で送ることができた一例
			4-2	11	脳転移に対し補液減量することで嘔気嘔吐が改善した在宅患者。
			4-3	18	人生の最期を在宅で過ごす患者の生活の質を維持するために ～終末期患者に対する訪問看護ステーションの作業療法士(OTR)の関わりによる効果の検討
			4-4	39	カテコラミン離脱困難な心不全患者を多職種の連携により在宅で良好に管理できた一例
			4-5	05	終末期非がん患者とその家族に対する意思決定支援
			4-6	08	緩和ケア病棟における退院支援に臨む看護師の心構え -退院に踏み切れない終末期がん患者・家族に焦点をあてて-
			4-7	09	在宅緩和ケアにおけるICT情報共有ツールの患者・家族個人端末利用状況の検討
			4-8	22	患者と家族の間で最期を迎える場所の希望が異なる在宅緩和ケアにおいて、自宅療養の継続と中止を判断した二例。
			4-9	36	がんになっても安心して暮らせる地域のために～がん相談支援、tomoniなごやの活動～
口演5	301	14:15-15:45	5-1	38	臨床実習中の医学生が臨床研修開始までに必要と考える終末期コミュニケーションに関する学習内容：高学年学生への半構造化面接調査結果
			5-2	03	本人の「家に帰る」の思いを繋げた症例報告 - 主介護者の高齢の妻を支える -
			5-3	02	初期のアルツハイマー型認知症患者とその前段階の患者が身体・感覚機能の低下や痛みを上手く伝えられない可能性について
			5-4	15	最期の日々の小さな希望を表現することを可能にした対話の経験 ～相互作用の生じる対話によって承認と支持を継続しつづけた終末期ケア～
			5-5	17	急性期病院看護師のがん患者とのACPに関する対話についての意識調査
			5-6	24	意思決定支援プロセスにおける看護師の役割について ～キューブラー・ロスの心理過程で振り返る～
			5-7	42	患者と家族の意見の不一致について医療者が仲介し、意思決定につながった1例
			5-8	33	がん告知11日後に亡くなった患者のACP
			5-9	29	療養の場の選択に際して意思決定支援に難渋した在留外国人がん患者の1例